



会長就任にあたって

同窓会会長 菅原 充

昭和44年卒 北沢

このたび、令和7年下北沢小学校同窓会総会の承認を得て、臼井良雄会長の後任として、同窓会会長に就任することとなりました。

令和2年下北沢小学校同窓会に合流し、野地会長、臼井会長の下、東大原小学校、守山小学校、北沢小学校の卒業生と歴史をすべて引き継ぎ、新たに下北沢小学校の卒業生を加え、仲良く下北沢小学校同窓会を運営してきました。

同窓会の若返りを図るため、今年から評議員会の部会に「会員・

若手増加プロジェクト」を立ち上げ、若手会員の増加を図ります。

同窓会の活動は会員皆様の会費、寄付に支えられていますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

下北沢小学校は今年度創立10周年を迎えました。その記念として『下北沢小学校見学ツアー』を企画しました。10月25日（土）午後2時スタートで、大字校長が学校を案内してください。当日は下北沢文化祭最終日です。在校生の作品もご覧いただきたいと思います。多くの方の参加をお待ちしています。



下北沢小学校創立10周年を迎えて

下北沢小学校校長

大字 弘一郎

平成28年4月の開校以来、多くの方々に支えられ、下北沢小学校は今年度創立10周年を迎えました。

この10年間、同窓会の皆様には、毎年の図書の寄贈やIT環境の推進（運動会等でのオンラインライブ配信を可能とする画像伝送システムの構築）など、本校教育環境の充実に多大なるご支援をいただいております。充実した学習環境の中で、子どもたちは、伸び伸びと楽しく、笑顔いっぱい下北沢小学校に通っています。

令和7年度に入り、航空写真の撮影や周年記念横断幕の作成、新国立劇場合唱団による記念コンサートなど、様々な記念行事を実施しています。そこで、同窓会の皆様にも10周年を祝っていただきたく、本校同窓生を対象に「学校見学ツアー」を企画したいと考えています。

下北沢小学校卒業生の一期生と二期生は、卒業当時、新校舎建設中のため、旧守山小学校校舎で学校生活を送り、卒業を迎えられました。私は、前任校である山野小学校長として、下北沢小学校開校式典に参列した記憶があります。一期生・二期生の皆様、そして、すべての卒業生の皆様には、今回のツアーで新設となった母校を味わっていただけたら幸いです。

下北沢小学校見学ツアーは、10月25日（土）午後2時から3時を予定しております。当日は、下北沢文化祭（作品展）最終日です。体育館をはじめとして、児童の作品を数多く展示しておりますので、見学ツアーと合わせてご覧いただきたいと思います。

ツアー当日は、同窓会役員の方々とともに、校長が学校を案内いたしますので、奮ってご参加ください。お待ちしております。

下北沢小学校見学ツアー

日時：2025年10月25日（土）午後2時から3時

集合場所：下北沢小学校 体育館前

案内：大字校長

（同窓会受付で受付をしてください）

当日は下北沢文化祭（作品展）の最終日です。在校生の作品もご覧いただけます。

令和7年同窓会総会講演より

「女系三代の俳句の道」

小川 晴子 昭和33年卒 東大原

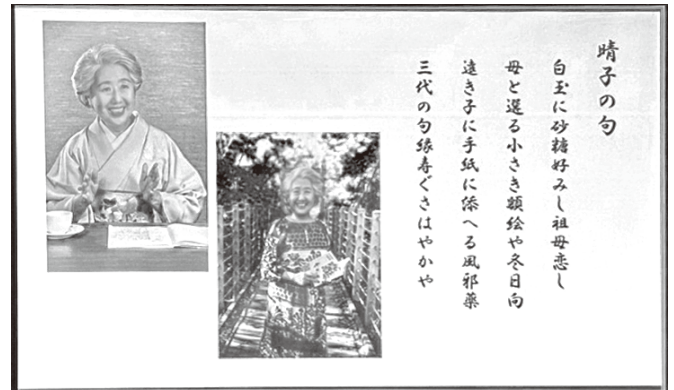
小川晴子さんは昭和33年に東大原小学校を卒業されました。当時は代田に住んでおられ、殆ど車も走っていなかった鎌倉通りで遊んでいた思い出や、当時井の頭線の踏切を手で上げ下げしていたお爺さんに毎朝挨拶して学校に通い、途中で浅間酒店のおじさんに会うとオートバイに乗せてもらって学校まで行った事など、平和だった思い出を語られました。

小川晴子さんは現在俳句結社「今日の花」を主宰されると同時に、日本文芸家協会会員、俳人協会評議員、朝日カルチャーセンター講師など幅広くご活躍されています。

また、晴子さんの祖母である中村汀女さんは羽根木公園の梅林に句碑があるように、有名な女流俳人としてご活躍され、毎年開催される「世田谷梅まつり」では第3回から俳句のご指導をされていたらしいです。

その後、第12回からはお母さまの小川清美子（なみこ）さんが、そして第40回からは小川晴子さんが講師を務められ、皆様からお寄せいただいた俳句の選句・添削・講習をして現在に至っていらっしやいます。

三代続く女流俳人の家ではいつも編集者や関係者が沢山いて、さながら家内工場のような事でした。女性の日々の暮らしの中での感動を句にする汀女さんや清美子さんは台所俳句と揶揄されることもあったそうですが、富本憲吉氏の家を訪問した際に詠んだ「外にも出よ触るるばかりに春の月」がそれらを一扫させたという事です。この句は羽根木公園の梅林の中に句碑として建てられています。



小川さんが講演に使ったスライド

今回の同窓会総会のために前もって先生から「春の風」と「花だより」というお題を頂き、卒業生の皆様が頭をひねって作った句を先生が添削してくださいました。

また、3月には卒業を控えた6年生にも俳句を作る機会を与えて下さり、お忙しい中、卒業までに間に合うように添削してくださいました。6年生3クラスの作品の中から各組10句ずつ選ばれた句が発表されました。

その中の幾つかをご紹介します（順不同）。お名前は伏せさせていただきます。

卒業だ 思いを背負い とび立とう
桜さく さいごの校門 あとにする
春の空 未来信じて 飛び立とう
旅立ちだ 最後の思い 春の歌
桜咲く 輝きまとい 旅立つ日

小川晴子さんは子供たちの俳句は余計な言葉がなく、素直な気持ちが伝わってくるので大好きだと仰っていました。季語がなかったり、季語が二つも三つもある句でもまっすぐな気持ちの表現に会う事が多く嬉しいし、きちんとメモして残しておく大人になって自分の歴史を見るような楽しみがあると子供たちに話しかけました。さらに我々同窓会員にも子供や孫の句を作って残しておく、それはその後成長した子や孫にとっては宝物になると教えてくださいました。

当日配布された「俳句の心得」を参考に、これから俳句を作ってみようと思われた方も多いのではないのでしょうか。

（講演から構成）

第10回 同窓会総会のお知らせ

日時：2026年4月19日（日）午後3時から（予定）

場所：下北沢小学校 体育館

当日はメモリアルルームにて各小学校の卒業アルバムや学童疎開の資料などを公開します。

同窓会長退任にあたって

臼井 良雄

昭和29年卒 東大原



ごくろうさまでした。

17年前、長かった会
社生活が終わり66歳に
なった私に、小学校の同
級生だった大竹君から東
大原小学校の同窓会に入
会して欲しいという呼び
かけがありました。「子
供時代お世話になった宮
川先生が中心になってい

るので同期でなんとか協力したい」ということでした。その結果、24人の同期生が同窓会に加入し、内、私を含めて3名が理事にもなることとなりました。会費納入者171人、期末残高が13万円強の時代でした。岩下会長、宮川会長、野地会長のもとで、それまでほとんど交流がなかった地域の方々と知り合い、共に活動するという楽しみを知りました。平成25年には野地会長のもとで思いもかけず副会長となり、その後の会長と合わせて12年、学校統廃合の混乱の中、同窓会の3校統廃合が一番の思い出に残る仕事だったと思います。

私も八十路を歩む歳になり、元気な若手が沢山育ってきた中、最後の会長職務を無事終わらせて頂く事が出来ました。

ありがとうございました。

同窓生の声

同窓生の皆さまのご投稿をお待ちしています。

小学校時代の思い出、同期会の様子、近況報告などお寄せください。本文200～400字程度でタイトル、氏名、卒業校、卒業年を入れてください。また採否のお知らせや問い合わせ用に、住所、連絡先電話番号、メールアドレスも明記の上、下記同窓会住所へ郵送、またはメールにてお送りください。皆様のご投稿をお待ちしております。 同窓会住所：156-0041世田谷区大原1-4-6 下北沢小学校内 メールアドレス：dosokai@shimokitazawa.school

北沢小学校時代の思い出

小川 進 昭和36年卒 北沢

私達21期生が北沢小学校に入学したのは、昭和30年で、戦後のベビーブームが続いている時で、我々1年生は4クラスで1クラスに50人～55人いて、1学年に200人以上いました。それぞれに兄弟、姉妹も多く、その内何人かは、同時に北沢小学校に通っている人もたくさんいました。その当時全校生徒は1000人以上いたと思います。校舎は木造で廊下は板の間で、ほこりが立たないように大掃除の時に油を敷いていたので、上履きの靴底のゴムが伸びて膨らんでダメになったのを覚えてます。

白黒テレビが丁度出始めの時で、各家庭にテレビはありませんでした。教室に夏のクーラーはなく、暑い時は窓を全開にし、また冬は、各教室にあるだるまストーブにスコップで石炭をくべて暖をとっていました。教室の数が足りなくて、1部、2部に分かれて授業を受けていました。運動会では、校庭は生徒達と父兄で一杯になり、種目は一日中続きました。遠足は電車の1～2両を貸し切りにして、電車の中では大騒ぎでした。

授業が終わり学校から帰ると、ランドセルを家の玄関に放り投げ、外で暗くなるまで遊んでいました。服は兄、姉のお下がりを当たり前のように着ていました。物が今のように豊かでは

なかったにしろ、みんな元気があってのびのびしていて、なぜか心が豊かだったような気がします。今になって思えばみんないい思い出です。

同窓生とのラジオ体操

金子 賢三 昭和51年卒 東大原

下北沢のまちづくり活動に関わる中で、毎朝ラジオ体操をやるようになった。会場は小田急が地下化されることでできた「空き地」と呼ばれる広場で毎朝8時半から9時。昔オデオン座があった場所の斜め前あたりの広場だ。コロナ禍で会場を閉めなくなかったので、zoomでの生配信も始め、毎朝会場と合わせて50人くらいのみなさんと身体を動かしている。年配者の多



下北線路街空き地ラジオ体操会・朝の風景
日々会場には30～40人くらい集まっています。

い地元の活動であるため、同窓会の方も多く、ラジオ体操で知り合ったのだけれど、同窓生だったという方もちらほら。住んでいるのは遠くても、下北沢に

同窓会会費納入のお願い

同窓会は総会開催や会報発行の他に、下北沢小学校の活動の支援も行っております。これらの活動に資するために20歳以上の卒業生から年間1,000円の会費及び寄付を任意で納入して頂いております。

今年は下北沢小学校が開校10周年を迎えました。同窓会の更なる発展のために、同封の払込取扱票にてお支払い頂けますよう皆様のご協力をお願い申し上げます。

同窓会住所：156-0041世田谷区大原1-4-6 下北沢小学校内

同窓会への連絡はメールアドレス
dosokai@shimokitazawa.school
までお寄せください。



同窓会ホームページ
http://www.shimokitazawa.school
下北沢小学校のHPにもリンクしています。



残っている同窓生とzoomでラジオ体操がしてみたいなと思われる方は僕のメールアドレスに連絡をください。
kkenzo@gmail.com です。

小学校同期生との活動

山本 直子 昭和51年卒 守山

2016年3月、東大原小学校と守山小学校が統合前に、およそ30年ぶりに同期会を開催いたしました。30年前の名簿や、卒業文集に掲載されていた住所などを頼りに、葉書を出したり、電話をしたりして少しずつ連絡が繋がり、同級生の多大なる協力のもと、当日は20名以上の同級生と再会をいたしました。その後、担任の野上誠子先生や養護教諭の坂本先生をお招きしたり、年々参加者も増え、日本はもとより、イギリス、アメリカなど海外からも参加してくださり、大変盛り上がりしております。

去年は還暦同期会を開催いたしました。二度目になるボウリング大会。毎週ボウリングに興じる人やマイボールを持



還暦祝いのボウリング大会

参する人などもいて、楽しい時間を共有できました。子育てなども一段落、同窓会を楽しめる年齢になり、それぞれの今の生活の清涼剤となればと思っています。

下北沢小同窓会評議員になりました

岸田 健司 平成12年卒 東大原

はじめに、同窓会評議員へのお声をかけていただき、このような機会を与えて下さった田尾さんをはじめとした同窓会役員の皆様に、心から感謝申し上げます。私が、同窓会の評議員になるきっかけは、下北沢一番街振興組合の阿波踊り団体の「ひふみ連」で役員をしており、地域の活性化に繋がることになればと思い参加をさせていただきました。ただ当初は、下北沢小学校の同窓会活動には否定的でした。それは東大原小学校の卒業生であり、「下北沢小学校の卒業生ではない」という点が引っかかっていたからです。また、同窓会活動のイメージも、先輩方が思い出に浸る会を各々卒業年次で集まる会を開催する、くらいのイメージだったので、私にはこちらの団体活動は不要であると感じていました。いざ参加をさせていただくとイメージは180度変わりました。

同窓会の意義は、「在校生のために力になる」ということが1番の目的です。そのためには活動費が必要であり、皆様の会費が在校生や今後入学してくる未来の学生の為に使われます。

下北沢小同窓会という言葉に違和感を覚えていらっしゃる方は、私だけでなく沢山いると思います。守山小、北沢小の卒業生は学校の場所も変わり、就学時の思い出を全て取られてしまったと感じる方もいらっしゃると思います。東大原小については、新校舎で思い出が残っていないという方もいらっしゃると思いますが、在校生や未来の学生の為に、皆様のお力添えをいただき、より良い地域の発展(未来への投資)に寄与いただければ幸いです。

今後ですが、同窓会若手メンバーを増やす活動員として、新しいアイデアや方法で下北沢小の同窓会員(支援メンバー)や会費を増やしていきたいと思っています。

思い出の校庭キャンプ

田尾 佳音 平成26年卒 東大原

小学生の思い出で一番心に残っているのは、校庭での一泊キャンプです。土の校庭にコンクリートブロックを積み上げてかまどを作り、薪をくべて火を起こすと、ぱちぱちと心地よい音と香ばしい匂いが広がりました。学年ごとの班でカレーや焼きそばなど思い思いの料理を作り、慣れない手つきで包丁を握る姿も、今では懐かしい光景です。料理ができると「試食会」と称してお互いの料理を味見し合い、笑い声が絶えませんでした。夜は体育館で友だちと夜更けまでおしゃべりし、朝は澄んだ空気の中、おやじの会が用意してくれた豚汁や磯辺焼きを頬張りしました。

統廃合で建物も校庭もすっかり変わりましたが、そこで育まれた温かい交流や思い出は変わりません。これからも同窓会評議員として、その



校庭に張られたテント

“繋がり”を未来に残すお手伝いをしていきたいです。

小学校時代の思い出

杉本 亘 平成27年卒 守山

私が小学校時代の思い出の中で、特に印象に残っているのは運動会の応援団長を務めたことです。



右が筆者

最初は大勢の前で大きな声を出すのが恥ずかしく、自信もありませんでした。しかし、練習をしていく中で団員の支えや先生方のアドバイスを受け、少しずつ大きな声を出せるようになりました。

来年度以降の会報発行配布案

下北沢小学校同窓会では毎年会報を発行し、住所の判明している同窓生の方々に配布しております。しかし、近年の郵送料や諸経費の高騰により全会員への会報配布が困難になってきております。同窓会報は同窓会ホームページにも毎号掲載しております。同窓会評議員会では、来年度より18歳未満の会員の方にはホームページを閲覧して頂き、また会費未納が続く会員の方の一部には配布しないという方針を決定させて頂きました(絞り込み方法は未定)。誠に申し訳ございませんが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本番では、私の声に合わせて皆が元気に応援してくれ、強い一体感を感じることが出来ました。緊張しながらも、みんなと心を1つにして全力で声を出した高揚感は、今でも鮮明に覚えています。運動会の後、様々な方から「とても良かった」などと褒めて頂いたのが嬉しかったです。

思い出から夢へ

村松 位紡 平成31年卒 下北沢

下北沢小学校での思い出の中で、一番に残っているのは毎年の運動会です。仲間と一緒に力を合わせながら、リレーや応援合戦、大玉転がしで頑張った時間は今でも鮮明に思い出せます。特に6年生の最後のリレーでは、バトンを受けた瞬間の緊張感や、走り終わったときの達成感が強く心に残っています。この運動会を通じて、「自分だけの力じゃなく、みんなで支え合うことの大切さ」を学びました。悔しい思いをしたときも、仲間の応援に励まされて前を向くことができました。

こうした経験は、私が「体を動かすことの楽しさ」や「努力する人を支える重要性」に気づききっかけになり、今ではスポーツトレーナーを目指す夢につながっています。現在は知識を深めるために勉強に励みつつ、その夢に向かって一歩ずつ進んでいます。小学校で出会った友達や先生方、そして支えてくれた家族に感謝の気持ちを忘れずに、これからも努力を続けたいと思っています。

いつか地元の下北沢から、世界で活躍できるようなトレーナーになれるよう全力を尽くします。

わたしの宝物

長島 遙 平成31年卒 下北沢

私の入学した守山小学校は、4年生の時に東大原小学校と合併して、下北沢小学校となりました。そして、6年生の時には現在の下北沢小学校の校舎に移り、北沢小学校とも合併し、私たちは新校舎で初めての卒業生となりました。振り返ってみると、小



学校6年間で環境の変化がこれほど多かった学年は珍しいのではないかと思います。守山小学校時代は1クラスわずか19名という少人数でしたが、東大原小学校、北沢小学校との合併を経て、たくさんの友人ができたことはとても幸せに思います。

今でも当時の友人たちとは連絡を取り合っており、何年たっても会えばすぐに小学校の頃のような気持ちに戻って楽しく笑い合える仲間たちです。そんなかけがえのない友人たちと出会えた小学校時代は私にとって一生の宝物です。

私は、今小学校のころから夢だった保育士になるために、大学で児童学を学んでいます。実習などで忙しい日々ではありませんが、子どもたちと成長できる喜びを感じながら充実した日々を送っています。これからも小学校時代に出会った仲間たちとの繋がりを大切にしながら夢に向かって頑張っていきたいと思っています。



現在の6年生の教室

東大原小入学、下北沢小卒業

羽生田 琉之介 平成31年卒 下北沢

小学校の頃の思い出と言うと、やはり学校が統合したことが印象深いです。

当時の自分は閉校することをあまり理解できておらず、「何やら面白そうなイベントが目白押しだな」程度にしか思っていないませんでした（笑）

閉校記念の図書カードは今も財布に入っていたり、おたまじゃくしやトンボを見ると救出イベントで家に持って帰って育てたことを思い出します。

今年大学生になって「小学校の時の友だちは元気かな」とふと思うことが多くなりました。今の自分をあの頃の経験が形作っていると考えると感慨深いものがあります。

令和7年度同窓会総会議事について

令和7年度同窓会総会は令和7年4月20日に例年通り対面開催され、各議案の説明及び質疑応答が行われた結果すべての議案が原案通り承認可決されました。各議案の内容は下記の通りです。

第1号議案「令和6年度事業報告」

1. 総会開催

令和6年4月21日（日）同窓会総会を開催した。

参加者 53名（来賓2名、東大原卒33名、守山卒4名、北沢卒9名、下北沢卒2名、他3名）

第一部：総会議事

第二部：藤川靖彦氏講演

2. 会員名簿の管理及び会報の発行

下北沢小学校同窓会として「しもきたざわ第8号」の会報6500部を作成し、令和6年11月に発送した。

3. 母校の教育環境の向上

令和3年度より継続している同窓会文庫を令和6年度（62冊、¥99,781）も実施した。

学校内の運動会や学芸会などのイベントを同時中継して児童の家庭に届ける映像撮影編集伝送システム機器101,309円を購入し寄贈した。撮影はおやじの会が行った。

4. 地域との連携

下記の地域催事に協賛した。下北沢阿波おどり、せたがや梅まつり(羽根木公園)

災害支援として、能登半島地震災害支援金に寄付した。（輪島市と珠洲市向けの支援金）

5. 理事会、評議員会の開催

理事会：7月、12月、1月に開催（計3回）

評議員会：5月、9月、3月、4月に開催（計4回）

6. ホームページの管理・運営

下北沢小学校同窓会のホームページを随時更新している。

URL <http://www.shimokitazawa.school>

第2号議案「令和6年度決算報告および会計監査報告

令和6年度決算報告

(自:令和6年4月1日 至:令和7年3月31日)

(単位:円)

収入の部	予算額	決算額	支出の部	予算額	決算額
会費収入	500,000	583,000	活動費(※1)	400,000	344,446
寄付金収入	500,000	528,000	会報費(※2)	750,000	734,262
雑収入	-	734	文具等消耗品費	25,000	3,410
			振替払込手数料負担	65,000	55,239
			メモリアルスペース費用	10,000	0
当年度計	1,000,000	1,111,734	当年度計	1,250,000	1,137,357
前年度繰越金	2,698,425	2,698,425	次年度繰越金(※3)	2,448,425	2,672,802
合計	3,698,425	3,810,159	合計	3,698,425	3,810,159

活動費(※1) 明細

会報費(※2) 明細

支出内容	金額(円)	支出内容	金額(円)
ホームページ管理費	60,060	編集・印刷代(6ページ三折、6,500部)	222,585
寄付・協賛金(2件)	20,000	窓付き封筒作成代(7,000部)	117,810
能登半島地震災害支援金	30,000	私製払込取扱票作成	42,966
下北小へ無線映像伝送システム機器寄贈	101,309	宛名印字(バーコード付き)	96,233
下北小へ図書寄贈(同窓会文庫62冊)	99,781	郵送料(各種割引適用を含む2,425通)	249,056
総会諸費用	33,296	事務関連諸経費	5,612
合計	344,446	合計	734,262

次年度繰越金(※3)の内訳

振替口座 122,883円、普通預金 1,549,919円、定期預金 1,000,000円 計2,672,802円

会員の皆様からの会費・寄付金の支出にあたっては、同窓会活動に必要な経費の支出に限定しております。
また、下記のガイドラインを設け、注意を払い、健全な会計を目指して活動しております。
・同窓会役員は、全員ボランティアとして活動に伴う飲食費、交通費等は自己負担とし、同窓会から支出はしない。
・懇親会や親睦旅行等は、会員の一部の人間が参加するものであるため、金銭的援助は一切行なわない。
・文具費、消耗品費、コピー代、通信費など活動のための実費は、領収書を提出し会計の承認を得て支払う。

令和6年度監査報告

我々監事3名は、令和6年度決算書類を慎重に監査した結果、いずれも適正かつ妥当なものと認めます。

令和7年4月6日

監事 齋藤 耕一 ㊞
監事 久保 孝光 ㊞
監事 元田 雅子 ㊞

第3号議案「令和7年度事業計画」

1. 総会の開催

令和7年4月20日開催

2. 会員名簿の管理及び会報の発行

年1回の会報作成とより多くの会員への送付を実施し、会費納入会員の更なる増加を図る。
会員名簿の管理は個人情報漏えいを防ぐため、「個人情報保護方針」に従い、責任者を決め、厳重にこれを管理することを継続する。

3. 母校の教育環境の向上

母校や学校関係諸団体とのコミュニケーションを継続して行う。
各種学校関連行事への参加、協賛、寄贈などを学校と協議し母校の発展に協力する。

4. 会員の福利厚生

同窓生のメールや手紙による各種の要望には誠実に対応する。

5. 周年行事

10周年記念行事に参加協力する。

6. その他

地域の行事へ積極的に参加し、地域の発展に協力する。

第4号議案「令和7年度予算案」

令和7年度予算(案)

(自:令和7年4月1日 至:令和8年3月31日)

(単位:円)

収入の部	令和7年度予算額	令和6年度実績	支出の部	令和7年度予算額	令和6年度実績
会費収入	500,000	583,000	活動費	400,000	344,446
寄付金収入	500,000	528,000	会報費	750,000	734,262
雑収入	-	734	文具等消耗品費	5,000	3,410
			振替払込手数料負担	65,000	55,239
			メモリアルスペース費用	10,000	-
			特別周年費	200,000	0
当年度計	1,000,000	1,111,734	当年度計	1,430,000	1,137,357
前年度繰越金	2,672,802	2,698,425	次年度繰越金	2,242,802	2,672,802
合計	3,672,802	3,810,159	合計	3,672,802	3,810,159

第5号議案「役員の選出」

(卒業年の「S」は昭和、「東」は東大原小学校、「守」は守山小学校、「北」は北沢小学校、「下」は下北沢小学校の略)

1. 評議員候補者

(会則第6条に規定する定員: 20名以上50名以内)

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
S26東	野地 勝彰	S28守	齋田 孝	S29東	臼井 良雄	S33東	岩本 照雄
S34東	神田 啓子	S35北	及川 園子	S35東	梶川 照矩	S35東	益井 純子
S36東	漆畑 光一	S36東	大岡 雅子	S36北	小川 進	S36東	小山田 忠
S36東	齋藤 耕一	S39東	降旗 正明	S41北	古田 直子	S44東	大澤 弘一
S44北	久保 孝光	S44北	菅原 充	S47北	豊田 慈子	S48東	武中 千里
S49北	大屋 勇	S49東	窪田 賢雄	S49守	杉本 真	S50東	渡辺 明男
S51東	金子 賢三	S51東	田尾 智志	S51守	山本 直子	S52東	大塚 智弘
S55守	元田 雅子	S57東	宮田 健二	S59東	舞木 健二	S61東	羽生田やまめ
H12東	岸田 健司	H26東	田尾 佳音	H27守	杉本 亘		
副校長	富安 誠哉						

2. 理事候補者

(会則第6条に規定する定員: 15名以上30名以内)

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
S26東	野地 勝彰	S29東	臼井 良雄	S35北	及川 園子	S35東	梶川 照矩
S36東	漆畑 光一	S36東	大岡 雅子	S36東	小山田 忠	S39東	降旗 正明
S44東	大澤 弘一	S47北	豊田 慈子	S51東	金子 賢三	S51東	田尾 智志
S51守	山本 直子	S57東	宮田 健二	S59東	舞木 健二	S61東	羽生田やまめ
副校長	富安 誠哉						

3. 会長候補者

(会則第6条に規定する定員: 1名)

卒業年	氏名
S44北	菅原 充

4. 副会長候補者

(会則第6条に規定する定員: 若干名)

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
S48東	武中 千里	S49守	杉本 真	S50東	渡辺 明男

5. 監事候補者

(会則第6条に規定する定員: 3名)

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
S36東	齋藤 耕一	S44北	久保 孝光	S55守	元田 雅子

6. 参与候補者

卒業年	氏名	卒業年	氏名
S14東	吉田 昶	S35東	神谷 良男